2024(R6)年度 北山田町防災訓練フロー

時　間	進　行　状　況	町会長(隊長)	副町会長	頭　役(班長)	特任防災委員	防災委員(区長)	防　災　委　員	町　　役	防災協力員	グループリーダー
8時00分	訓練、訓練、地震です。訓練、訓練、地震です。 南海トラフ地震が発生しました。 震度6弱の地震が発生しました。	①自分の身をまもる。(特に頭) ②家族の確認 ③火の始末 ④避難するとき(不在時)は、ブレーカーを切る。								
8時15分	対策本部からの活動指示はありませんが、各自で活動を開始。 ◇防災委員は ①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着し、身の安全を図り自宅から出動。 ②余震に備え、小型動力ポンプを倉庫からだす。 ③火災予防を広報しつつ、集合場所に向かう。 ④各区長は、会館前に集合。 ◇グループリーダーも、近所の安否確認を行い、防災協力員又は町役に報告。 ◇代表町役は、北山田会館前に集合。 ◇防災協力員は、一次避難場所に集まり、情報収集の準備。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着。身の安全を図り、北山田会館に向かう。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着。身の安全を図り、北山田会館に向かう。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着。身の安全を図り、北山田会館に向かい、防災対策本部立ち上げ準備をする。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着。身の安全を図り、北山田会館に向かい、防災対策本部立ち上げ準備をする。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着し、身の安全を図り自宅から出動。 ②各区長は、北山田会館に集合。	①ヘルメット、法被、長靴、手袋などを装着し、身の安全を図り自宅から出動。 ②余震に備え、小型動力ポンプを倉庫からだす。 ③火災予防を広報しつつ、集合場所に向かう。	①代表町役(1名)は、貸与されたベストを着装して、北山田会館に向かう。 (町役の代表者1名) ②町役(代表町役以外)は、貸与されたベストを着装して、一次避難場所に向かう。	指示がなくても個別に活動する。 ①ネームプレートを付ける。 ②一次集合場所に向かう。 ③情報収集の準備をする。	指示がなくても個別に活動する。 ①ネームプレートを付ける。 ②ご近所の安否確認を行う。 ※ここでは、確認すべき家を確認すればよい。個別に安否確認する必要はない。
8時30分	発災から30分経過しました。 自主防災会隊長(町内会長)が、北山田会館の駐車場に「防災対策本部」を設置することを宣言。 隊長から頭役等に活動指示。 ◇防災委員は、町内の見回り及び火災予防広報 ◇町役は、安否確認 ≪防災委員≫ ①各区長は、防災委員の集合状況と各委員の装備等を確認。 ②各区長は、班長(頭役)から指示を受け、各防災委員に担当エリアの見回り(パトロール) 及び火災予防広報を指示。 ◇見回り(パトロール)は、二人一組で、消火器、無線機及び拡声器を所持し、自転車でパトロール。 ≪町役・防災協力員・グループリーダー≫ 町役は、班長(頭役)から指示を受け、防災協力員に安否確認を指示します。	①北山田会館の駐車場に「防災対策本部」を設置すると宣言 ②頭役(班長)に活動指示 ・防災委員は、町内の見回り及び火災予防広報を行え。 ・町役は、安否確認を行え。	町会長(隊長)を補佐する。	①頭役(事業担当・防災担当)は、見回りと広報活動を防災委員に指示。 ②頭役(総務担当)は、町役に町民の安否確認を指示。		①防災委員の集合状況と各委員の装備等を確認する。 ②各防災委員に担当エリアの見回り(パトロール) 及び火災予防広報を指示する。	①身の安全を図るため各自の装備等を確認する。 ②区長の下命を受け、無線で、待機している防災委員に自転車で対策本部に来るよう指示する。 ③見回り(パトロール)は、二人一組で、消火器、無線機及び拡声器を所持し、自転車でパトロールする。 ※情報のやり取りは、無線機を使う。	①一次避難場所に到着した町役は、対策本部からの指示がなくても、集まった防災協力員に安否確認を指示する。 ②グループリーダーから情報がない場合は、防災協力員に報告がない地域を確認するよう指示する。	①グループリーダーからの報告をまとめる。 ②報告がない場合は、現地を確認する。	①防災協力員又は町役に報告する。 ※防災協力員が不在の場合は町役に報告する。 ※報告が完了すれば解散
8時45分	防災委員の各班が、二人一組で、消火器、無線機、拡声器を持ち、自転車で町内をパトロールする。 また、火の始末、電気火災による注意喚起も広報する。						①二人一組で、各班、消火器、無線機、拡声器を持ち、自転車で町内をパトロール。 ②火の始末、電気火災による注意喚起も広報。 ③水利状況も報告(河川・水槽・琵琶湖)	①代表町役は、対策本部から一次避難場所に移動。 ②対策本部が立ち上がったことを周知する。 ③対策本部からの指示を伝達し、再度、活動指示を行う。	①被害状況を取りまとめ町役に報告する。 ※町役への報告が完了すれば解散	
9時00分	見回り(パトロール)班が火災を発見。 消火器では、火の勢いが強く消火でず。 そこで、本部に応援要請。 本部から指示された防災委員は、火災現場に向かい、ホースを延長し、消火栓での消火を試みるが、断水で消火できず。 本部に断水で消火できない旨を報告。 本部は、小型動力ポンプの出動を指示。 防火水槽には、元ポンプを、火点には、先ポンプを出動させる。						①見回り(パトロール)班が火災を発見。 ②消火器で消火 ③本部に連絡。 ④消火器では、火の勢いが強く消火できず。その旨、本部に報告。 ⑤本部から要請された防災委員は、火災現場に向かい、ホースを延長し、消火栓での消火を試みるが、断水で消火できず。 ⑥本部に断水で消火できない旨を報告。 ⑦本部は、小型動力ポンプの出動を指示。 ⑧防火水槽には、元ポンプを、火点には、先ポンプを出動。	①安否情報を集約することができれば、対策本部に移動。		
		鎮火を宣言			鎮火を無線で打つ。			①頭役(総務担当)に安否情報を報告する。		
9時20分	進捗状況を確認して、「火災は、鎮火。」と放送する。 ホースなど資機材を撤収。									
9時30分	閉会式	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合	北山田会館駐車場に集合		